

# 中国景気概況(2022年8月)

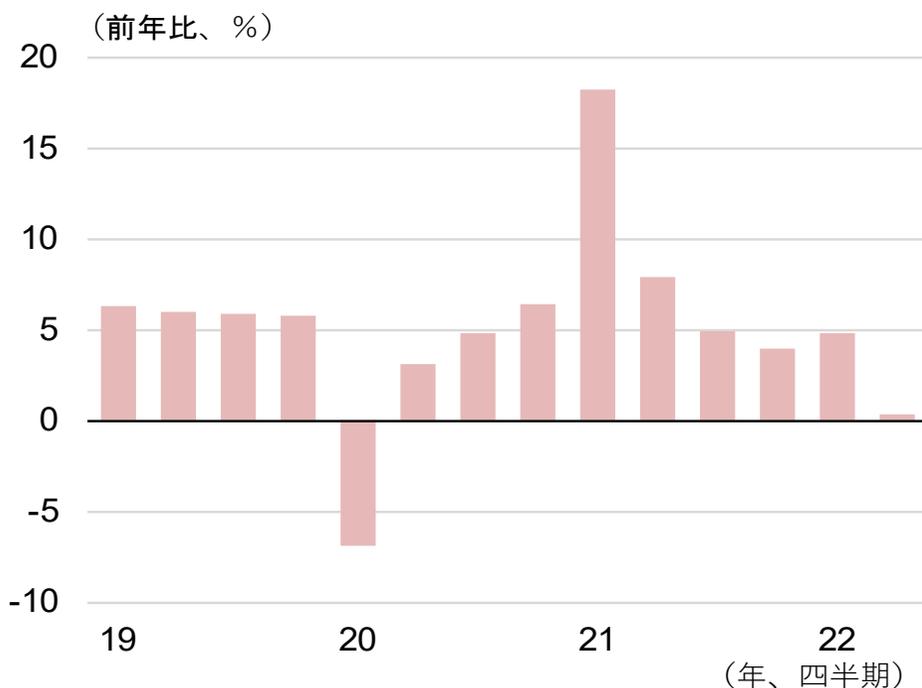
2022年8月2日

調査部 研究員 丸山 健太

# 実質GDP成長率は大幅鈍化、PMIも低下し、景気は足踏み

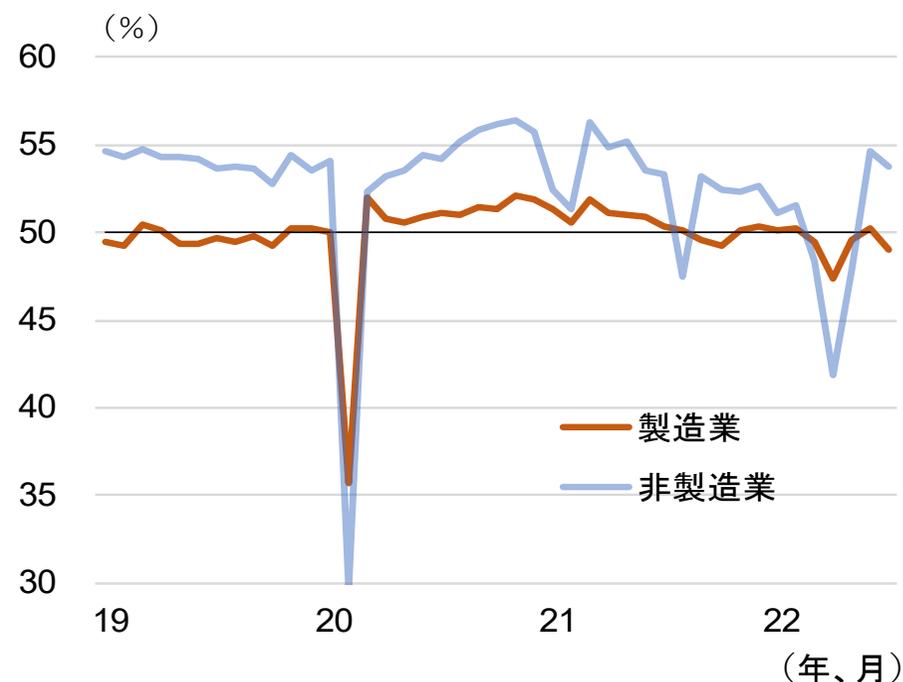
2022年第2四半期の実質GDP成長率は前年比+0.4%と伸びが大幅に縮小した。季節調整済み前期比は-2.6%と、新型コロナウイルスが中国経済に初めて打撃を与えた2020年第1四半期以来のマイナスとなった。上海ロックダウンが解除された6月には持ち直しの動きがみられたが、4、5月の大幅な落ち込みをカバーするには至らなかった。その後、7月のPMIIは、製造業、非製造業とも低下し、製造業は好不況の境目の50を再び下回るなど、景気の持ち直しに足踏みがみられる。

### 実質GDP(四半期)



(出所) 国家統計局

### PMI



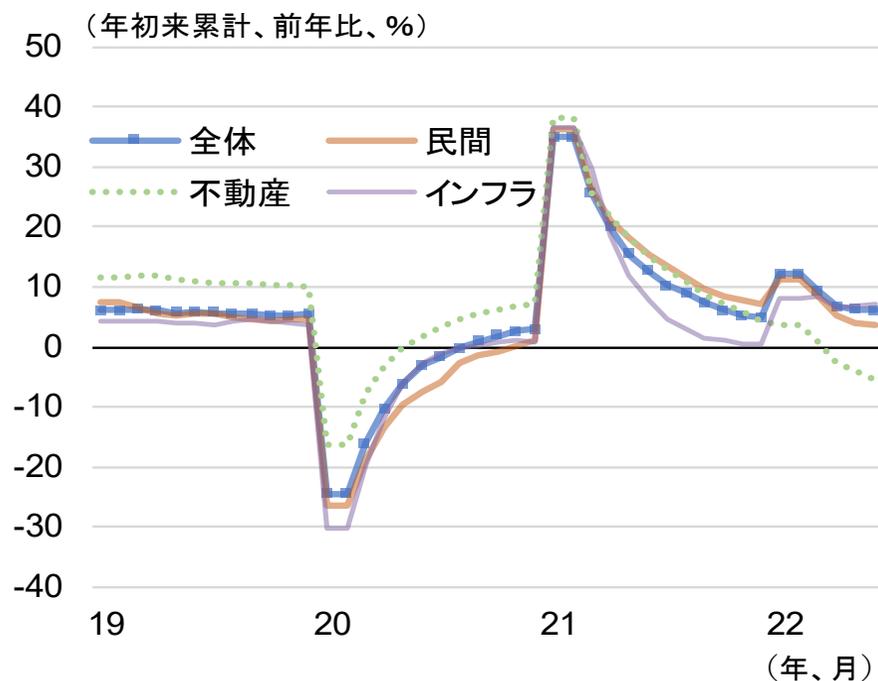
(出所) 国家統計局

# 固定資産投資は減速、生産は持ち直し

6月の固定資産投資(年初来累計値)は、前年比+6.1%と4ヶ月連続で鈍化した。インフラ投資は政府が拡大方針を示したことで同+7.1%と堅調な一方、不動産投資は規制強化とロックダウンで需要が縮小し、同-5.4%と前年割れが続いた。

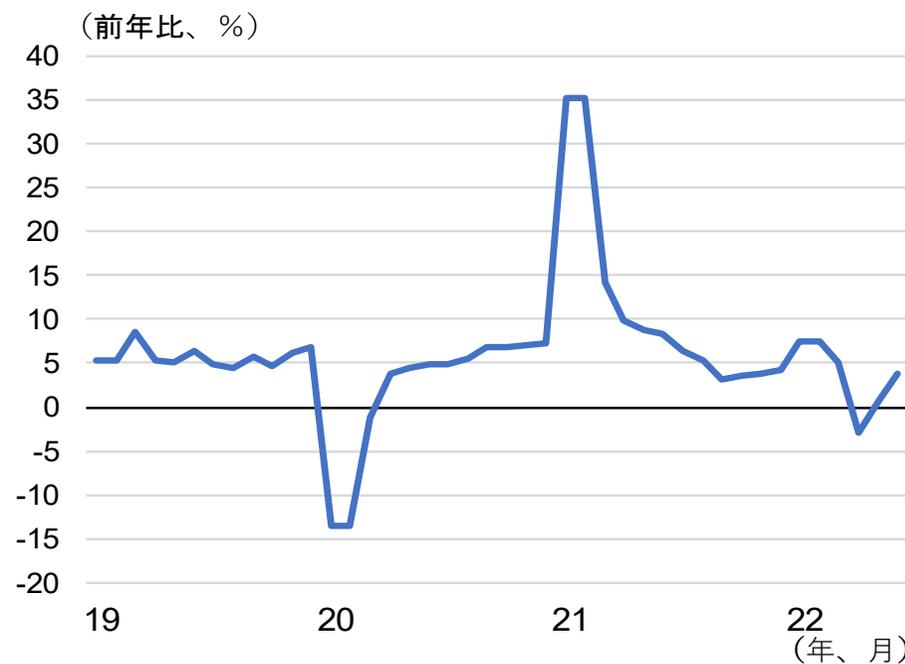
6月の工業生産は、前年比+3.9%と増加幅が拡大し、持ち直している。上海でのロックダウンが解除され、生産活動が正常化する中、落ち込みが大きかった自動車や汎用機械などが前年比プラスに転じた。

### 固定資産投資



(出所) 国家統計局

### 工業生産



(出所) 国家統計局

# 消費は持ち直し、物価は上昇幅拡大

6月の小売売上高(名目)は前年比+3.1%と4ヶ月ぶりに増加し、消費は持ち直している。上海ロックダウンの解除を受け、化粧品類や金銀宝飾類といったぜいたく品消費が増加に転じたほか、自動車販売も生産の持ち直しとともに増加した。一方、飲食サービスは前年割れが続くなど、各地で感染拡大が散見される中、接触型サービスは低迷が続いた。

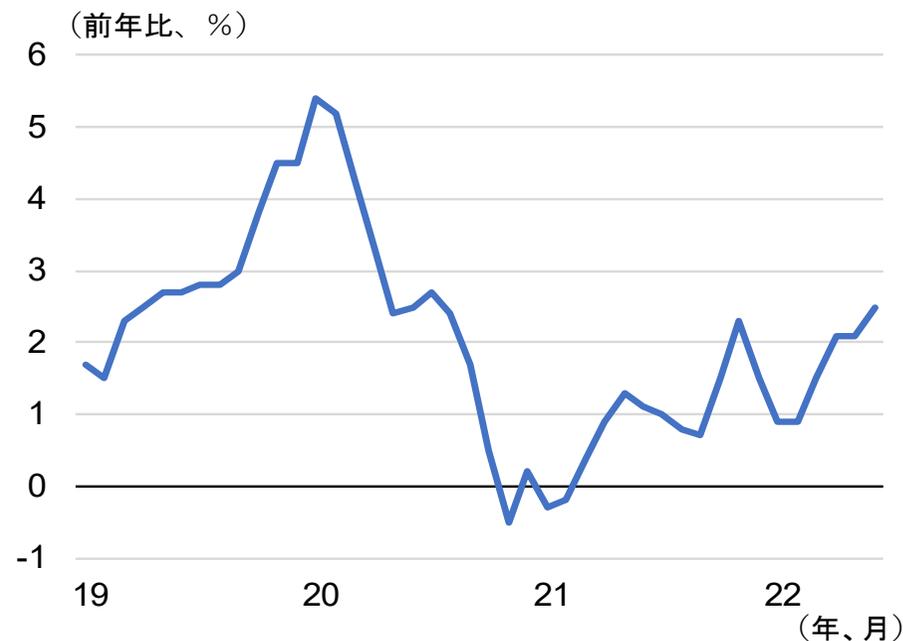
6月の消費者物価上昇率は前年比+2.5%と上昇幅が拡大した。食品やエネルギーの価格が物価を押し上げた。

### 小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

### 消費者物価指数

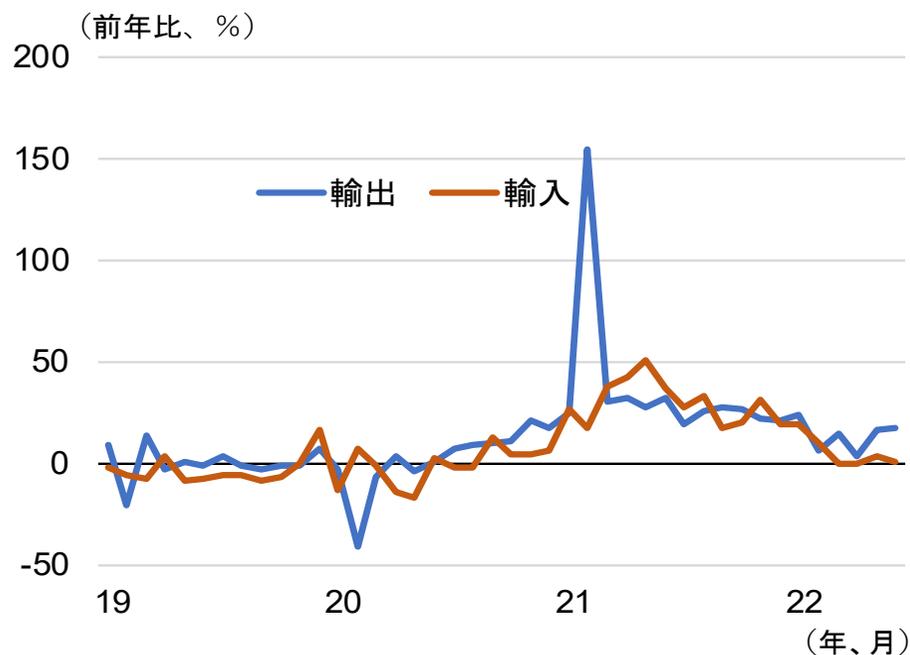


(出所) 国家統計局

# 輸出は増加幅拡大、輸入は小幅増加

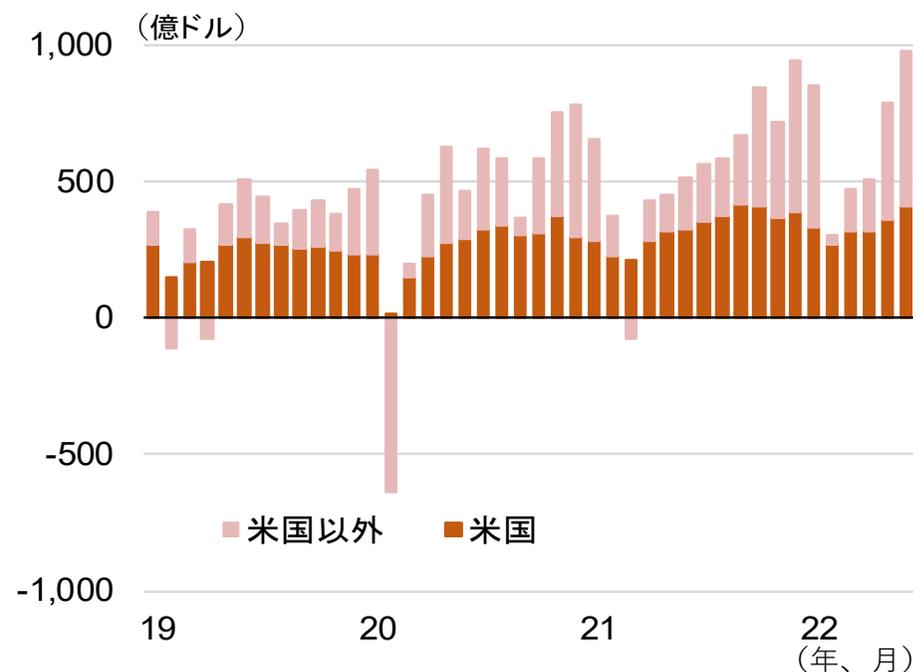
6月の輸出は前年比+17.9%と増加幅が拡大し、輸入は同+1.0%と小幅に増加した。貿易黒字は979億ドルと、前年同月(515億ドル)から大きく拡大した。輸出は、上海ロックダウンの解除を反映し、半導体等電子部品や電工器材などの機械類や衣服、鋼材の増加寄与が大きかった。また輸入は、価格が高騰する石炭など資源の増加は大きかったものの、内需の弱さから輸入全体の増加は小幅にとどまった。貿易収支は、対EU、対ASEAN、対米国の黒字幅拡大が大きかった。

### 財輸出入



(出所) 海関総署

### 貿易収支



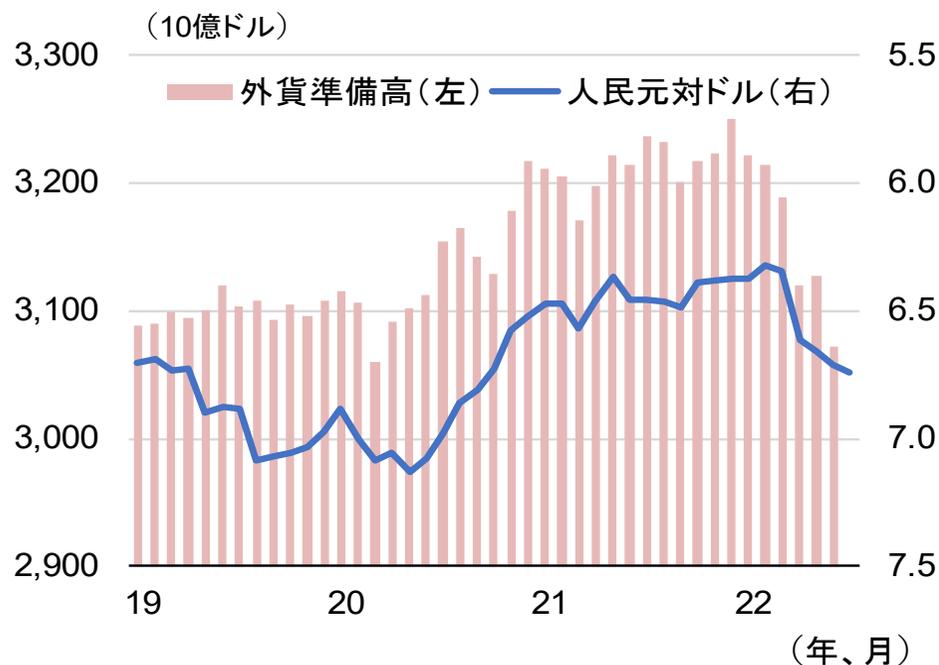
(出所) 海関総署

# 為替は小幅元安、株価は下落後横ばい

人民元の対ドルレート(7月末値)は1ドル=6.74元と前月末から元安がわずかに進んだが、米国の利上げは織り込み済みで、ここ3ヶ月、概ね横ばい圏で推移している。6月末時点での外貨準備高は、3兆713億ドルと2ヶ月ぶりに減少した。

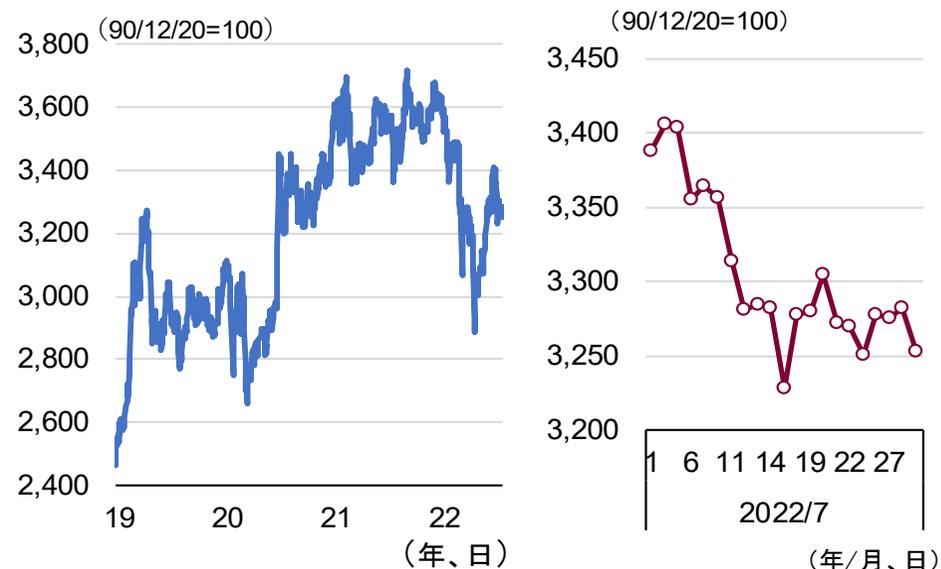
7月の上海総合株価指数は、上海市などでの感染拡大を受けて月前半に下落した。その後、感染拡大懸念が残る中、コロナ禍で低迷する不動産業への支援など政府の景気対策への期待が下支えし、株価は横ばい圏で推移した。

### 外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

### 上海総合株価指数

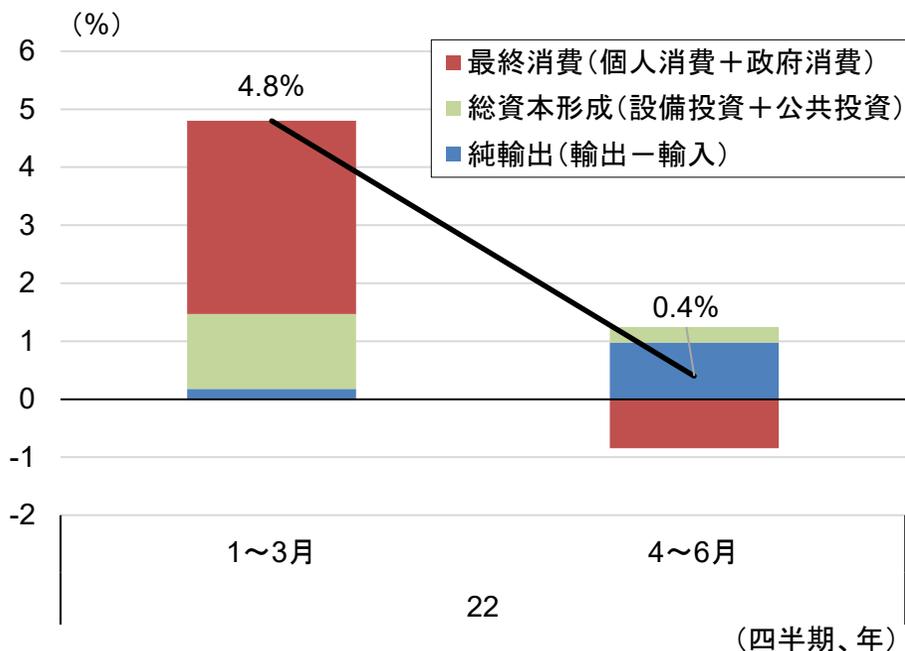


(出所) 上海証券交易所

## 2022年4～6月の実質GDP① ～ 個人消費が減少する中、外需が下支え

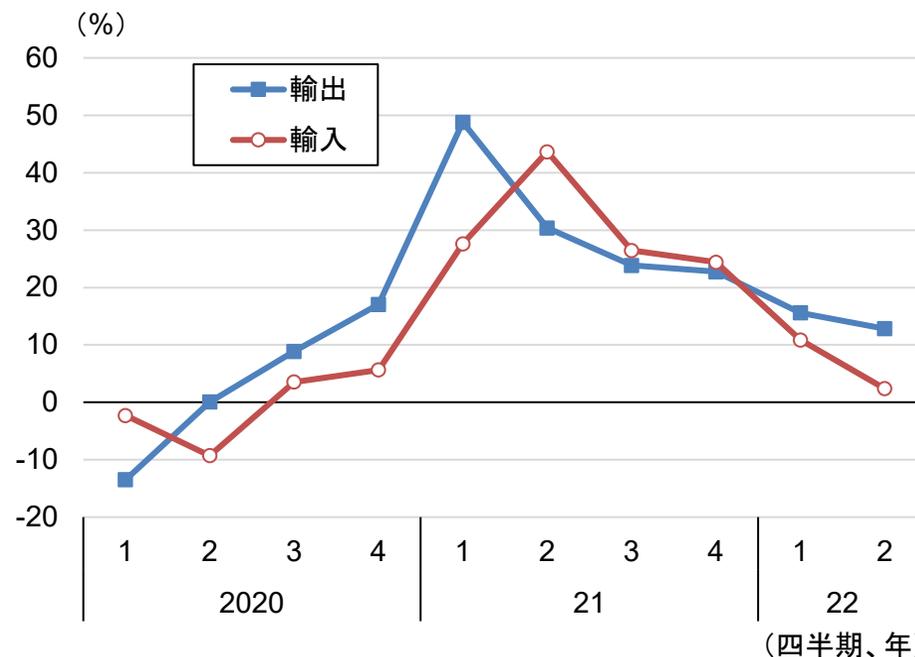
2022年4～6月の実質GDP成長率は前年比+0.4%と、前期から大幅に縮小した(1頁参照)。需要項目別では、上海ロックダウンの影響で個人消費が大きく落ち込んだことから、最終消費がマイナス寄与に転じた(左図)。一方、純輸出はプラス寄与が拡大した。輸出の堅調さに加え、内需の弱さを反映した輸入の低迷も純輸出を押し上げた(右図)。7月以降は、ロックダウン解除で個人消費はプラス寄与に復帰するものの、インフレと利上げによる米欧経済の減速懸念から輸出の減速が予想されるほか、内需の回復で輸入の持ち直しも見込まれ、純輸出のプラス寄与が縮小する可能性がある。

実質GDP成長率と需要項目別寄与度



(出所) 国家統計局

輸出入の推移(前年同期比、四半期)

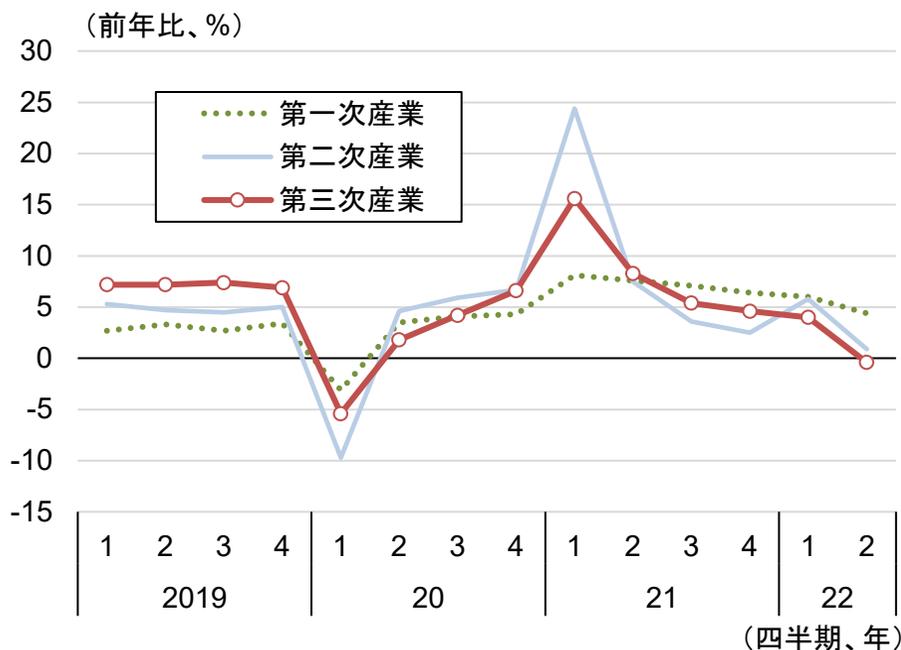


(出所) 海関総署

## 2022年4～6月の実質GDP② ～ 第三次産業の落ち込み

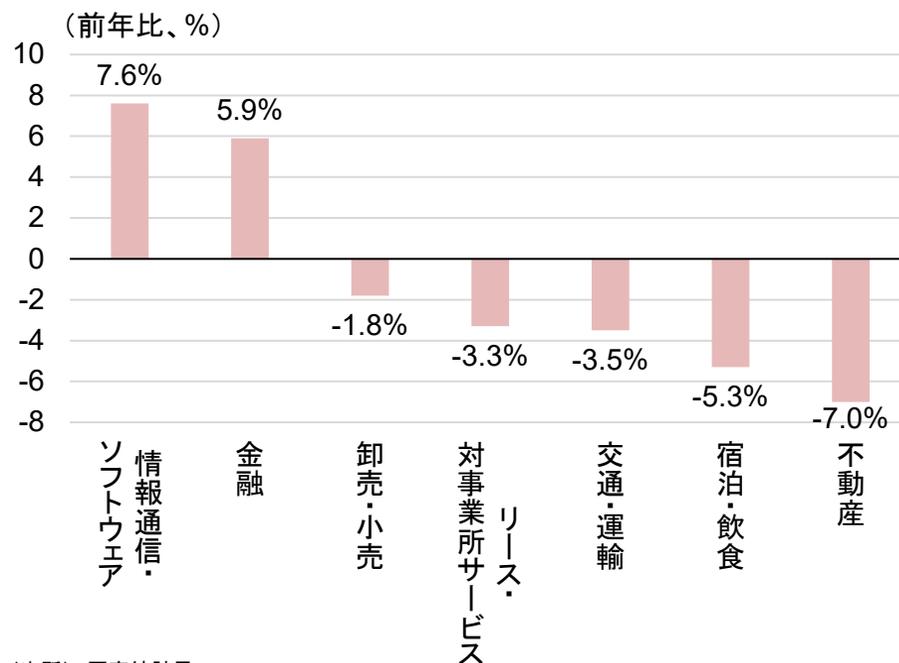
2022年4～6月の実質GDPを産業別にみると、第三次産業の落ち込みが目立つ(左図)。内訳をみると、需要が強い情報通信・ソフトウェアで高い伸びを記録した一方、交通・運輸や宿泊・飲食の減少幅が大きかった(右図)。上海ロックダウンにより人の移動が制限され、接触型サービスの消費機会が失われたことが影響した。さらに、規制強化を背景に不動産は4四半期連続でのマイナス成長となり、主要産業でマイナス幅が最も大きい。今後は、ロックダウン解除で接触型サービスの回復が期待されるものの、不動産は多くの企業が財務状況に問題を抱えており、低迷が続く見込みである。

産業別GDP成長率の推移



(出所) 国家統計局

GDP成長率(22年4～6月、第三次産業)



(出所) 国家統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください